

インドフード・サクセス・マクムール(INDF)

アサヒのグループ企業を取得

インドネシア | 食品 | 業績レビュー

BLOOMBERG INDF:IJ | REUTERS INDF:JK

- 2017/12 期 3Q (1-9 月) は、売上高が前年同期比 6.5%増の 53 兆 1,202 億 IDR、営業利益が同 14.6%増の 6 兆 8,006 億 IDR、純利益は同 3.9%増の 3 兆 2,429 億 IDR となった。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 7.9%増の 72 兆 290 億 IDR、当期利益が同 6.2%増の 4 兆 4,000 億 IDR。
- アサヒグループホールディングスが保有するインドネシアのグループ企業 2 社を 2,000 万 USD で取得。

What is the news?

2017/12 期 3Q (1-9 月) は、売上高が前年同期比 6.5%増の 53 兆 1,202 億 IDR、営業利益が同 14.6%増の 6 兆 8,006 億 IDR、純利益は同 3.9%増の 3 兆 2,429 億 IDR となった。売上総利益率は同 0.4 ポイント悪化の 28.8% となったが、販管費の抑制などから営業利益率は同 0.9 ポイント改善の 12.8%となった。ただ、金融収支が大幅に悪化し純利益を押し下げた。金融収益は同 55.4%減の 4,463 億 IDR となった一方、金融費用は同 8.4%減の 10,092 億 IDR となった。

部門別では、売上構成比が 50.5%を占める即席麺、乳製品、スナック菓子、調味料、栄養食品や飲料などの消費者向けブランド商品 (CBP) は、売上高が同 4.1%増の 26 兆 9,732 億 IDR、営業利益率は 14.8%と同 0.1 ポイントの改善となった。売上構成比が 21.6%を占める小麦粉やパスタなど小麦製品のブランド「Bogasari」は売上高が同 1.2%減の 14 兆 931 億 IDR と減収となり、営業利益率も 6.4%と同 2.2 ポイントの悪化となった。売上構成比が 20.0%のアブラヤシの栽培や採油、精製、食用油、マーガリン、ショートニングなどの製品化まで一貫して行うアグリビジネスは、売上高が同 18.4%増の 12 兆 1,388 億 IDR と大幅な増収となり、営業利益率は 10.9%と同 1.9 ポイントの改善となった。売上構成比が 7.9%の物流事業は売上高が同 7.3%増の 4 兆 2,183 億 IDR、営業利益率は 4.6%と同 0.9 ポイントの改善となった。

How do we view this?

2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 7.9%増の 72 兆 290 億 IDR、営業利益が同 6.9%増の 8 兆 9,598 億 IDR、当期利益が同 6.2%増の 4 兆 4,000 億 IDR と増収増益見通しである。同社は、アサヒグループホールディングスのグループ企業であるアサヒ・インドフード・ピバレッジ・マクムール (AIBM) 及びインドフード・アサヒ・サクセス・ピバレッジ (IASB) の株式の譲受けを決定。アサヒグループが保有するそれぞれ発行済株式数の 51%と 49%の株式を 2,000 万 USD で取得する。2018/3/29 に株式譲渡が完了する予定。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.00815円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高 (十億IDR)	63,594	64,061	66,750	72,029	77,073
純利益 (十億IDR)	3,941	2,968	4,144	4,400	4,749
EPS (IDR)	449	338	472	498	532
PER (倍)	17.82	23.67	16.95	16.06	15.04
BPS (IDR)	2,859	3,105	3,299	3,597	3901
PBR (倍)	2.80	2.58	2.42	2.22	2.05
配当 (IDR)	220	168	235	224	238
配当利回り (%)	2.75	2.10	2.94	2.80	2.98

(出所: 会社公表資料やBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

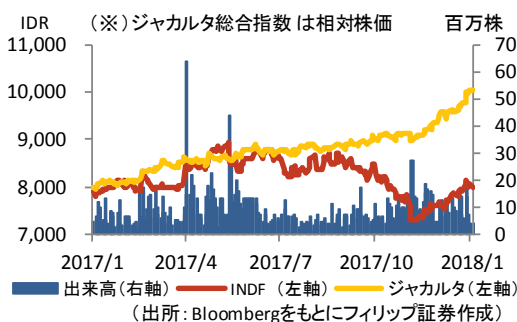
配当予想 (IDR) **224** (予想はBloomberg)
 終値 (IDR) **8,000** 2018/1/29

会社概要

1990年に設立。インドネシア財閥サリムグループ企業。即席麺・乳製品・調味料・スナック類を製造・流通、イスラム教徒向けの食品も製造している。関連企業である Bogasari はインドネシアの大手食品工場を有し、主に小麦粉を生産、販売しており、同社に大きく貢献している。農業ビジネスとも提携しており、プランテーション部門と食用油部門がある。

企業データ (2018/1/29)

ベータ値 1.14
 時価総額 (十億IDR) 70,243
 企業価値=EV (十億IDR) 97,096
 3か月平均売買代金 (十億IDR) 77



主要株主 (2018/1)

(%)

1. First Pacific 50.07
2. Vanguard Group 1.75
3. BlackRock 1.60

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980



フィリップ証券株式会社

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。